

第306回

日文研フォーラム

講師◎姜龍範 北朝鮮の核問題と中国の新たな朝鮮半島政策

講師◎姜龍範
天津外国語大学(中国) 教授/日文研 外国人研究員

コメンテーター◎松田利彦
日文研 教授

司会◎佐野真由子
日文研 准教授

2016年12月13日(火) 十四時～十六時(開場十三時四〇分)
ハートピア京都3階大会議室 入場無料

先着一八〇名まで・申込み不要

International Research Center for Japanese Studies

The 306th Nichibunken Forum

主催・大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター



日文研フォーラム

北朝鮮の核問題と

中国の新たな朝鮮半島政策

The North Korean Nuclear Issue and
China's New Policy Towards the Korean Peninsula

金正恩政権がスタートして五年が経過しました。この間、北朝鮮は核実験や弾道ミサイル発射を繰り返し、その挑発は金正日時代を遥かに上回っています。これに対し、中国は断固たる立場をとって国際制裁に加わったため、両国関係は次第に膠着状態に陥りました。

一方、きわめて良好であった中国と韓国との関係は、二〇一六年一月に北朝鮮が四回目の核実験を行った後、その対応をめぐって亀裂を生じ、現在では国交樹立後最大の危機を迎えています。これに伴い、中国国内では北朝鮮の戦略的な価値を再評価すべきとの意見も優勢になりつつあります。

そうしたなか、日本と韓国は、「慰安婦問題」の打開と関係改善に乗り出しました。この先、北東アジアでは「中朝露」対「日米韓」という、新たな枠組みの冷戦構造が定着する恐れがあります。

このような情勢のもと、中国の新たな朝鮮半島政策が注目されています。

講師 姜龍範

天津外国語大学(中国) 教授/日文研 外国人研究員



1983年中国延辺大学歴史学部卒業。1999年同大学世界史専攻博士号取得。1991-1993年東京大学社会科学研究所、2001-2002年東京財団研究部、2002-2003年早稲田大学アジア太平洋研究センターにて客員研究員。現在、国際日本文化研究センター外国人研究員を併任。専門分野は北東アジア国際関係、近代アジア関係史。主な著作に『近代中朝日三国の間島朝鮮人に対する政策研究』(中国黒竜江省朝鮮民族出版社、2000)。主要論文に「ポスト金正日時代の朝鮮対外政策と日朝関係」(『国際観察 第3期』、上海外語教育出版社、2012)、「朝鮮核戦略と核外交」(『社会科学戦線 第4期』、社会科学戦線雑誌社、2013)などがある。

コメンテーター 松田利彦 日文研 教授



京都大学文学部史学科卒業。京都大学博士(文学)。京都大学文学部助手、兵庫県立神戸商科大学専任講師、国際日本文化研究センター助教授、准教授を経て、2013年より現職。専門分野は、日朝・日韓関係史。主要著作に、『日本の朝鮮植民地支配と警察—1905～1945年』(校倉書房、2009)、『東亜聯盟運動と朝鮮・朝鮮人』(有志舎、2015)などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
TEL: 075-335-2078
<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



京都府立総合社会福祉会館 **ハートピア京都**

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄烏丸線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「烏丸丸太町」バス停下車

第307回 日文研フォーラム 2017年1月10日(火) 14:00~16:00

講師：マティアス・ハイエク パリ・デイドロ大学東アジア言語文化学部日本学科(フランス) 准教授 / 日文研 外国人研究員
コメンテーター：嘉数次人 大阪市立科学館 学芸担当課長